

□ はH28/4公表値

□ はH28/4公表値

	28年3月期 第2四半期累計		29年3月期 第2四半期累計		前年 同期比	28年3月期 通期		29年3月期 通期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比	見通し	構成比	
売上高合計	億円 2,106	100%	2,000 億円 1,943	100%	△8%	億円 4,358	100%	4,100 億円 3,850	100%	△12%
<海外売上高合計>	<1,570>	75%	<1,401>	72%	△11%	<3,091>	71%	<2,740>	71%	△11%
営業利益(%)	(20%) 413		330 (18%) 343		△17%	(19%) 809		600 (14%) 540		△33%
電力関連事業	338	16%	264	14%	△22%	835	19%	560	15%	△33%
営業利益(%)	(1%) 4		(-) △28		-	(3%) 26		(-) △65		-
セラミックス事業	1,228	58%	1,193	61%	△3%	2,511	58%	2,350	61%	△6%
営業利益(%)	(28%) 350		(29%) 351		+0%	(28%) 707		(25%) 595		△16%
エレクトロニクス事業	541	26%	486	25%	△10%	1,014	23%	940	24%	△7%
営業利益(%)	(11%) 60		(4%) 19		△68%	(8%) 77		(1%) 10		△87%

セグメント間売上消去

△1

△1

△3

		売上高比		売上高比	前年 同期比		売上高比		売上高比	前期比
経常利益(%)	403	(19%)	320 324	(17%)	△20%	815	(19%)	630 540	(14%)	△34%
親会社株主に帰属する 当期純利益(%)	275	(13%)	220 217	(11%)	△21%	533	(12%)	440 330	(9%)	△38%
ROE	-		-			13.3%		8.3%		
1株利益	84.18円		67.08			163.28円		102.24		
配当金(配当性向)	18円		20円			38円(23.3%)		40円(39.1%)		

為替レート(円/USD)

122

106

120

103

為替レート(円/EUR)

135

119

132

115

設備投資	207	10%	309	16%	+49%	454	10%	660	17%	+45%
減価償却費	135	6%	128	7%	△5%	274	6%	270	7%	△1%
研究開発費	80	4%	87	4%	+8%	174	4%	200	5%	+15%

第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 要 点 …… 前 年 同 期 比 減 収 ・ 減 益

① 事業別業績概況(売上高、営業利益)

【電力関連】……………減収・赤字

- ・がいし 海外向けの出荷が減少したほか、北米需要が低調に推移し減収・赤字。
- ・NAS 大口案件の出荷が無く、減収・赤字。

【セラミックス】……………減収・横ばい

- ・自動車関連製品 中国・欧州・米国市場の乗用車販売台数増加に加え、排ガス規制強化によりハニカム・NOx センサー等の需要が増加。
円高により減収も、利益は物量増の効果等により横ばい。
- ・産業プロセス 国内・中国の客先でリチウムイオン電池関連の投資が増加し、窯系列を中心に増収・微増益。

【エレクトロニクス】……………減収・減益

- ・電子部品 円高に加え、中国の携帯基地局の投資遅れによりパッケージの需要が弱く、減収・減益。
- ・半導体製造装置用製品 モバイル機器やデータセンター向けの半導体需要増を背景に、半導体メーカーの 3D-NAND 関連投資が高水準で推移し需要増で増収。
利益は円高等により減益。

② 為替影響： 売上高 Δ 122 億円、営業利益 Δ 36 億円

- ・前年同期 122 円 \rightarrow 当期 106 円/USD、135 円 \rightarrow 119 円/EUR

③ 特別損失 固定資産減損損失 32 億円

通 期 見 通 し の 要 点 …… 前 期 比 ・ 4 月 見 通 し 比 減 収 ・ 減 益 の 見 通 し

① 事業別業績概況(売上高、営業利益)

【電力関連】……………前期比 減収・赤字

- ・がいし アジア・中近東の大口案件の遅れや北米需要の低迷により、減収・赤字の見通し。
- ・NAS 国内外の案件が遅れており、赤字が拡大する見通し。

【セラミックス】……………前期比 減収・減益

- ・自動車関連製品 中国・欧州・米国市場の乗用車販売が引き続き堅調に推移し、ハニカム等の需要が増加するものの、円高により減収・減益の見通し。

【エレクトロニクス】……………前期比 減収・減益

- ・電子部品 中国の携帯基地局の投資遅れにより、パッケージの需要回復が遅れている。
- ・半導体製造装置用製品 半導体メーカーの設備投資が高水準で推移し需要増で増収を見込むものの、円高や価格低下等の影響により減益。

② 為替影響： 売上高 Δ 283 億円、営業利益 Δ 109 億円

- ・前期 120 円 \rightarrow 当期 103 円/USD、132 円 \rightarrow 115 円/EUR
(下期為替前提：100 円/USD、110 円/EUR)

- ・下期 1 円当たりの影響：USD(売上高 5 億円、営業利益 2.8 億円)
EUR(売上高 2 億円、営業利益 0.3 億円)

③ 配当予想 中間 20 円、期末 20 円の年間 40 円を予定。